

—わたしたちの行動が次の時代のまちをつくる—

まちづくり会議

開催報告



第1回「まちづくりの種を探そう」 —まちの魅力と問題点—



阿賀町 まちづくり観光課 まちづくり係

■開催目的

社会が成熟し、阿賀町に住む私たちの暮らしも多様化し、行政に対する社会的ニーズも多様化する一方、人口減少や少子高齢化税収の減少など本町には様々な課題があり、行政の計画である総合計画のほかに住民が考えるまちづくりの視点が必要となってきた。

大都市の利便性や経済的な豊かさに近づこうとする「未来の姿」を描くような「ないものねだり」の計画ではなく、わが町の弱点も弱みも受け止めて、ほかの町にはないわが町の特徴を活かした「町民の幸福」の実現のため、参加者は「参加者自身がフロンティア」として実践していく「行動計画」をつくり、実際にその計画を実践するプレーヤーとしてまちづくりの行動を起こすことを目的とする。

■開催日時・場所

令和元年8月29日（木） 午後7時から午後9時

阿賀町公民館 講堂

■参加者内訳

年代	男性	女性	合計	割合
10代	1名	—	1名	2.5%
20代	3名	1名	4名	10.0%
30代	10名	4名	14名	35.0%
40代	10名	1名	11名	27.5%
50代	2名	3名	5名	12.5%
60代	2名	1名	3名	7.5%
70代	2名	—	2名	5.0%
合計	30名	10名	40名	

町内 32名
町内企業在勤者 8名

■運営スタッフ

- ・ファシリテーター 西田卓司（地域おこし協力隊 黎明学舎塾長）
- ・サポートスタッフ 田実智幸（地域おこし協力隊）
江川里加（まちづくり係）

■ワークショップの展開

第1回 「まちづくりの種を探そう」－まちの魅力と問題点－

第2回 「まちの現実を考える」
－将来の課題を把握して未来の物語を考える－

第3回 「まちづくりの種を育てるために必要なこと」

第4回 「まちづくりの種を育てるために必要なこと」

第5回 「まちづくりの種をまこう」

第6回 リアルな「まちの物語」（公開の場での発表）

本会議は、議論や討論を行うのではなく、多様な方々が同じテーブルで情報交換し、対話によりアイデアを創発する場としている。

■第1回ワークショップのプログラム

- ①自己紹介
- ②自分が今考えている「まちづくりの種」は？
- ③同じ「まちづくりの種を持つ人」を探そう
- ④振り返り



■ワークショップの概要

第1回目は、「まちづくりの種を探そう」－まちの魅力と問題点－というテーマで、同じまちづくりの種（希望）を持つ人を探すワークショップを実施。

ワールド・カフェという手法を用いて少人数に分かれたテーブルで「阿賀町で大切にしたいこと」「挑戦したいこと」「不安に思うこと」「未来の阿賀町」について自由にグループ対話を行い、他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けて、ほかの参加者の方にアイデアを話したりまた聞いたりしながら、気づきや発見を統合して、その場で生まれるアイデアなどを話し合った。

そして自分が今考える「まちづくりの種」を見つけ、同じ「まちづくりの種」を持つ仲間探しをし、暫定で7つのチームができた。



